

3. 調査地の概要

3. 1 調査地の情報伝達及び啓発活動の概要

住民アンケート実施箇所の基礎情報として、アンケート実施地区の市町村等における災害時の経緯や土砂災害警戒情報に関する情報伝達状況、啓発活動の状況について調査した。調査は、市町村等の担当者への災害の経緯等の調査票への記入依頼及び電話によるヒアリングによる調査により行った。

以下に結果を示す。

(1) 福島県鮫川村

- ・ 鮫川村は、人口 4,325 人(H20. 1. 1)、面積 131. 3km²である。
- ・ 消防団は 301 名 (6. 9%)、自主防災組織には全戸が加入している。
火災防御訓練を年 2 回実施している。
- ・ 防災行政無線は、屋外・個別受信機を設置している。

①土砂災害警戒情報の周知状況

- ・ 福島県では、県広報誌に土砂災害警戒情報の運用開始の記載していない。また、村の広報誌にも記載はない。
- ・ 消防団の役員会で土砂災害警戒情報の運用開始時期や内容を説明した。

②台風 9 号時の経緯

- | | |
|---------------------|---|
| 9 月 7 日 1 時 | (消防団による倒木処理及び住宅浸水による排水活動) |
| 9 月 7 日 1 時 4 5 分 | 土砂災害警戒情報発表 |
| 9 月 7 日 2 時 | A 地区 裏山からの土砂流出により住宅が全壊
自主避難 1 世帯 2 名 |
| 9 月 7 日 2 時 | 避難路等の確保のため、村職員による土砂撤去が実施 |
| 9 月 7 日 1 4 時 1 0 分 | 土砂災害警戒情報解除 |

※本地区では、土砂災害警戒情報発表後にはがけ崩れが発生している。

なお、アメダス東白川観測所では、土砂災害警戒情報発表時の時間雨量は 9mm(7 日 1:00~2:00)、土砂災害警戒情報発表までの最大時間雨量は 10mm(6 日 22:00~23:00)であった。

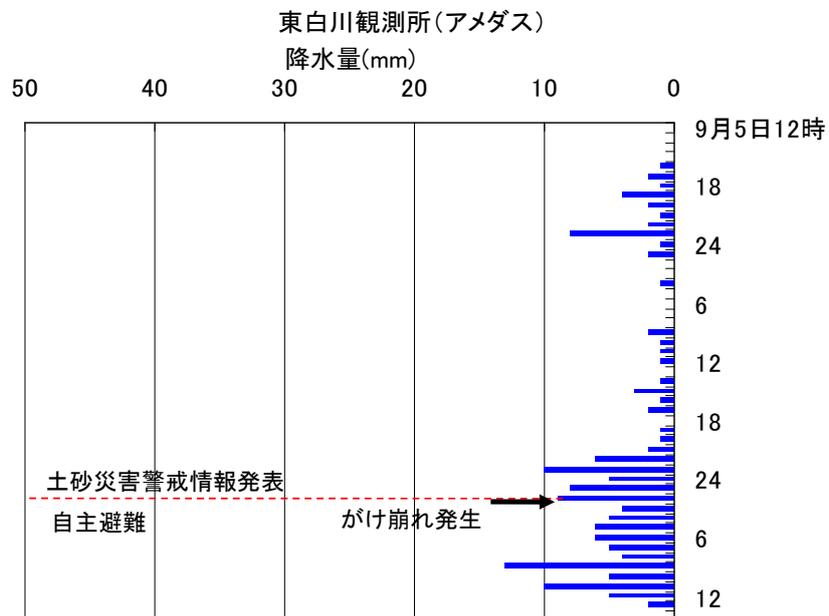


図-3.1.1 台風9号時の降水状況（東白川(アメダス)）



図-3.1.2 災害発生位置と雨量観測所

③土砂災害警戒情報の発表の連絡状況

- ・台風9号時には、土砂災害警戒情報発表時にテロップで表示やニュース等において土砂災害警戒情報について取り扱っていたようである。
- ・村の防災行政無線では、事前に台風に対する注意喚起をしているものの、大雨警報や土砂災害警戒情報が発表されたことは連絡していない。

(2) 山梨県丹波山村

- ・人口 777 名 (H20. 1. 1)、面積 101. 55km² である。
- ・消防団は 72 名 (9. 3%) である。
例年は年 1 回だが、今回は地区毎に防災訓練を実施した。
- ・防災行政無線は、屋外・個別受信機を設置している。

① 土砂災害警戒情報の周知状況

- ・山梨県では、取り扱いは小さいが土砂災害警戒情報の開始を県広報誌 (H19. 4) に記載している。
- ・村広報誌には、土砂災害警戒情報を説明した記載がない。県が作成したチラシを村役場で配布している。
- ・消防団の役員会や自治会長に、土砂災害警戒情報の開始の説明はしていないとのことである。

② 台風 9 号時の経緯

消防団は、いつでも出動できるように待機。

9 月 6 日 10 時 30 分 自主避難が開始

(山梨県政たより ふれあい(19. 4) より)

9 月 6 日 14 時 00 分 2 地区 (B 地区 50 世帯含む)

に防災行政無線により避難勧告を発令

避難勧告の発令後、村職員により残っている人への呼びかけを行い、避難を促した。

9 月 6 日 19 時 30 分 土砂災害警戒情報発表

9 月 6 日 22 時 土石流が発生 (土石流危険溪流 I)

9 月 7 日 11 時 06 分 土砂災害警戒情報解除

なお、9 月 6 日 23 時頃～翌日昼頃まで停電していたようである。

※本地区では、土砂災害警戒情報発表前に避難勧告が発令されている。また、土砂災害警戒情報発表中に土石流が発生している。

なお、アメダス大菩薩観測所では、避難勧告発令時の時間雨量は 17mm (9 月 6 日 13:00～14:00)、避難勧告発令までの時間雨量は 24mm (9 月 6 日 11:00～12:00)、土砂災害警戒情報発表時の時間雨量は 29mm (6 日 19:00～20:00)、土砂災害警戒情報発表までの最大時間雨量は 29mm (6 日 19:00～20:00) であった。

「土砂災害警戒情報」の発表開始

土砂災害による被害を未然に防ぐため、早めの避難ができるよう甲府地方気象台と共同で「土砂災害警戒情報」の発表を開始しました。

「土砂災害警戒情報」の発表は、大雨警報を発表している中で土砂災害の恐れが大きくなった場合、テレビ・ラジオ・インターネットなどでその地域を発表するものです。

情報が発表されたら警戒を強め、危ないと感じたり、土砂災害の前ぶれと思われる現象を見かけたら早めに避難しましょう。

●問い合わせ先／

砂防課

☎ 055-223-1710 ☎ 055-223-1714

甲府地方気象台

☎ 055-222-2347 ☎ 055-222-9101

図-3.1.3 県広報誌での記載

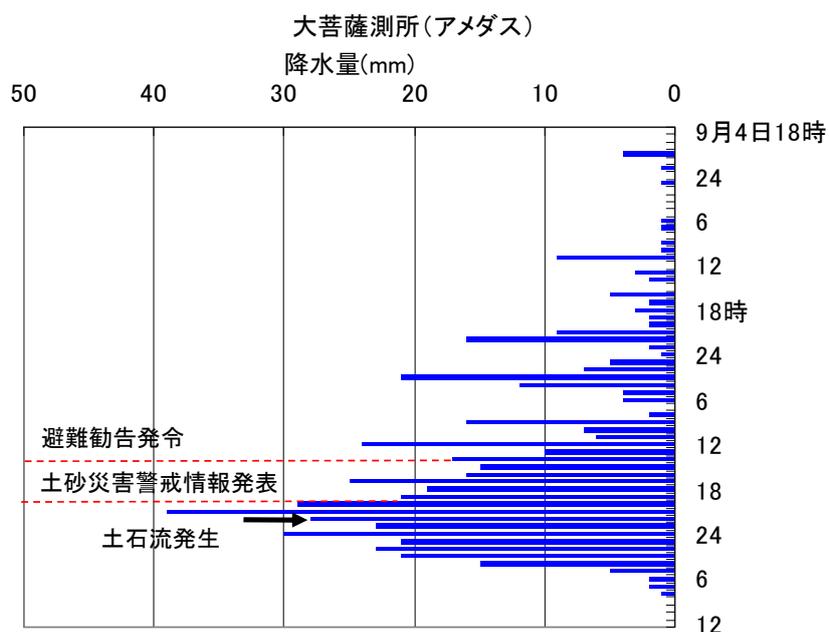


図-3.1.4 台風9号時の降水状況(大菩薩(アメダス))



図-3.1.5 災害発生位置と雨量観測所

③土砂災害警戒情報の発表の連絡状況

- ・テレビでは、発表及び解除時にテロップで表示され、発表中においても定期的にテロップが流れていたようである。また、ニュース等において土砂災害警戒情報について取り扱っていたようである。
- ・防災無線により9月6日14時00分に防災行政無線により避難勧告が発令を連絡し、台風への注意喚起や大雨警報、土砂災害警戒情報発表の連絡はしていない。

(3)長野県阿南町

- ・人口 5,699 名(H20.1.1)、面積 123.35km²である。
- ・消防団(4分団)、年に2回会合、点検を行っている。
- ・防災行政無線は、屋外・個別受信機を設置している。
- ・土砂災害危険箇所マップを平成12年に全戸配布した。

①土砂災害警戒情報の周知状況

- ・長野県では、県広報誌(H19.6)で土砂災害警戒情報の運用開始を記載している。
- ・町広報誌(H19.6)でも土砂災害警戒情報の記事を大きく記載している。
- ・消防団等への説明、防災訓練時等を通じて土砂災害警戒情報の周知をしているとのことである。
- ・県が作成した土砂災害警戒情報に関する説明用パンフレットの回覧を行っている。

新たに「土砂災害警戒情報」を発令します

長野県と長野地方気象台が共同して発表する新たな防災情報です。長野県では、平成19年6月より運用を開始します。発表は市町村ごとに行われます。土砂災害警戒情報が発表されたときは、いつ土砂災害がおきてもおかしくない、非常に危険な状態です。お宅の裏が崖になっている場合などは、早急に避難を考えましょう。

早期の避難を心がけましょう

土砂災害警戒情報は、大雨警報発表後も、雨が降り続き、土砂災害の発生する恐れが非常に高まったときに発表となります。

土砂災害警戒情報は、市町村長が避難勧告等が発令するときの判断材料、及び住民の皆さんの避難準備、自主避難の判断材料となることを目的としています。

土砂災害が発生する前には、様々な前兆現象が見られます。なにかおかしいと感じたら、直ちに避難を考えましょう。

長野県砂防課では、インターネットの「砂防情報ステーション」で、危険箇所や災害発生の危険度を表した最新情報を提供しています。是非、降雨時には参考としてください。

砂防情報ステーション(画面一例)
アドレス <http://133.105.11.45/index.html>

雨量情報 危険度表示

長野県砂防

NAGANO PREF SABO WEB PAGE

問い合わせ先
長野県土木部砂防課 TEL 026-235-7316
長野地方気象台防災業務課 TEL 026-232-3773

図-3.1.6 町広報誌での記載

(広報 あなん(19.6)より)

②台風4号時の経緯

- 7月14日17時00分 大雨警報発表 宿直体制
防災無線による台風への注意喚起
- 7月15日未明 住民から被害の連絡が入る
- 7月15日 3時25分 土砂災害警戒情報発表
- 7月15日 5時 各課職員に緊急連絡・緊急出勤-災害調査
- 7月15日 7時頃 自主避難（3世帯）
- 7月15日11時00分 土砂災害警戒情報解除
- 7月15日14時00分 避難勧告発表（1世帯）

※住民からの被害の連絡が入った時刻が不明であり土砂災害警戒情報発表と災害発生時刻の関係はわからない。

なお、アメダス阿南観測所では、土砂災害警戒情報発表時の時間雨量は15mm(15日3:00~4:00)、土砂災害警戒情報発表までの最大時間雨量は25mm(15日2:00~3:00)であった。

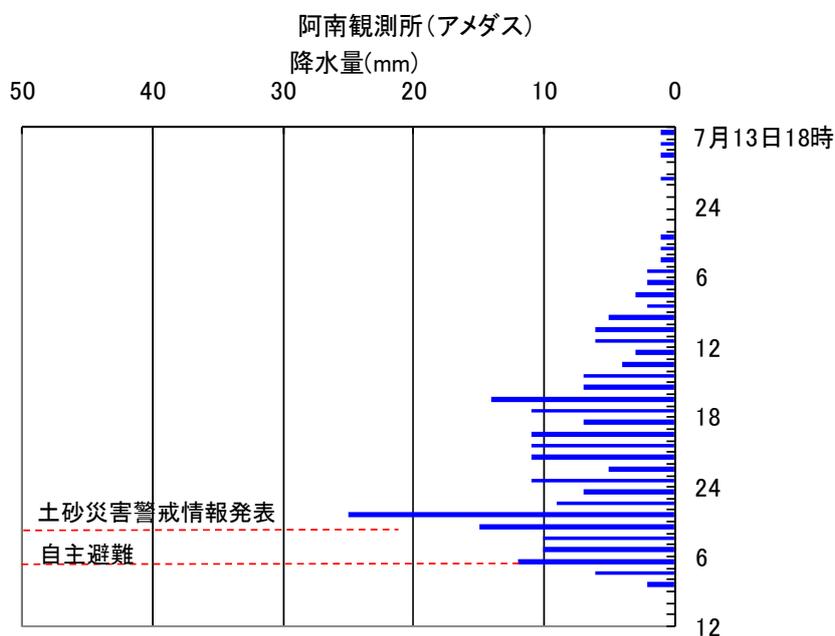


図-3.1.7 台風4号時の降水状況（阿南(アメダス)）



図-3.1.8 災害発生位置と雨量観測所

③土砂災害警戒情報の発表の連絡状況

- ・テレビでは、土砂災害警戒情報の発表をニュース等で土砂災害警戒情報について取り扱っていたようである。また、台風4号時のみ土砂災害警戒情報の発表時にテロップで表示したようである。
- ・防災行政無線では、台風に関する注意喚起を行っている。大雨警報、土砂災害警戒情報の発表の連絡は行っていない。
- ・携帯電話が不通の地区がある。

(4)長野県御代田町

- ・人口 14,284 名 (H20. 1. 1)、面積 58.78km²である。
- ・消防団 300 名 (2.1%) で、自主防災組織の加入率は約 70%である。
町防災訓練の実施を 8 月 25 日に実施した。
- ・オトク通信に約 1/2 世帯が加入しており、町の情報はこれにより発信されている。
- ・土砂災害ハザードマップを平成 13 年に全戸配布した。

①土砂災害警戒情報の周知状況

- ・長野県では、県広報誌 (H19. 6) で土砂災害警戒情報の運用開始を記載している。
- ・町広報誌 (H19. 6) では、土砂災害防止月間が取り上げられている。「土砂災害警戒情報」の言葉が記載されているが、内容の記述はない。
- ・消防団にはチラシを配っているが、自治会長には説明をしていない。
なお、防災訓練の際には県建設事務所からパネル展示があった。
- ・長野県から配布されたチラシを自治会で回覧した。

②台風 9 号時の経緯

- 9 月 6 日 7 時 5 0 分 土砂災害警戒情報発表
- 9 月 6 日 2 3 時 3 0 分頃 急傾斜崩壊防止工事箇所の見回り中に異常を発見
(木の倒れる音、土臭いにおい)
- 9 月 6 日 2 3 時 5 5 分頃 町役場に状況を連絡
- 9 月 7 日 1 時 5 5 分頃 再度、町役場に確認
- 9 月 7 日 2 時 5 5 分頃 避難勧告 3 世帯 (電話及び職員訪問による避難実施)
- 9 月 7 日 6 時頃 かけ崩れの確認
- 9 月 7 日 1 0 時 3 5 分 土砂災害警戒情報解除

※停電 (9/6 19:00 頃～) によりオトク通信は使用不能だったようである。

※本地区では、土砂災害警戒情報発表後にかげ崩れが発生している。また、避難勧告が発令されている。

なお、アメダス佐久観測所では、土砂災害警戒情報発表時の時間雨量は 2mm (6 日 7:00~8:00)、土砂災害警戒情報発表までの最大時間雨量は 13mm (5 日 19:00~20:00) であった。

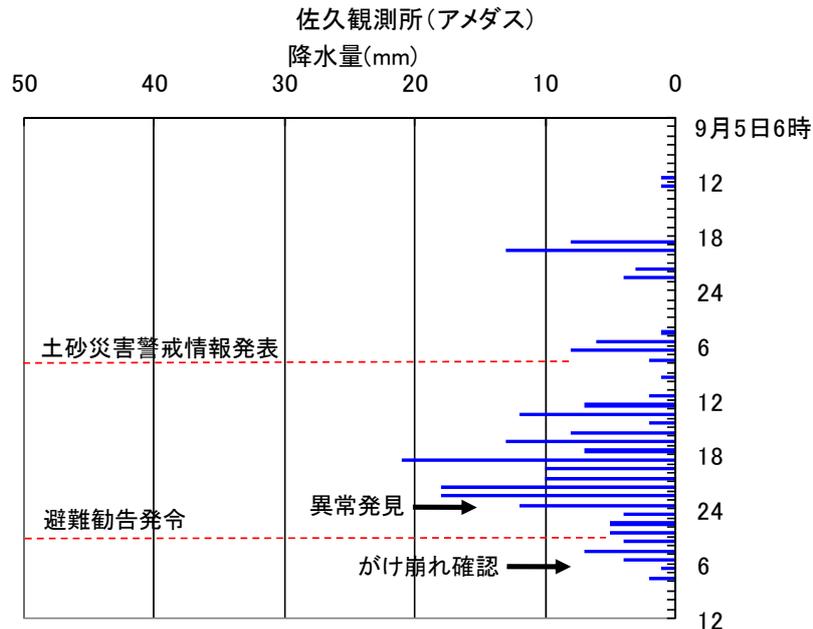


図-3.1.9 台風9号時の降水状況(佐久(アメダス))



図-3.1.10 災害発生位置と雨量観測所

③土砂災害警戒情報の発表の連絡状況

- ・テレビでは、土砂災害警戒情報の発表をニュース等で土砂災害警戒情報について取り扱っていたようである。また、台風4号時のみ土砂災害警戒情報の発表時にテロップで表示したようである。
- ・オフトーク通信では台風への注意喚起や大雨警報、土砂災害警戒情報発表の連絡はしていない。

また、避難勧告については深夜であること、対象世帯数が少ないことから、電話及び職員の訪問により連絡した。

(5)長野県佐久市

- ・人口 100,224 名 (H20. 1. 1)、面積 423.99km²である。
- ・総合防災訓練 (避難訓練) の実施 (年 1 回)。
- ・市町村合併前の旧 2 町については、防災行政無線 (屋外・個別受信機) を設置、市町村合併前の旧 1 町については、個別有線放送を利用、旧佐久地区は、自治会長に電話連絡
- ・平成 17 年度に土砂災害危険箇所図 (新法以前) を全戸に配布した。
土砂災害ハザードマップについては、自主防災組織から住民へ周知している。

①土砂災害警戒情報の周知状況

- ・長野県では、県広報誌 (H19. 6) で土砂災害警戒情報の運用開始を記載している。
- ・市広報誌 (H19. 6) では、「土砂災害に注意すること」を記載しているが、「土砂災害警戒情報」については、言葉が記載されているのみである。
- ・長野県からのパンフレットについては、各支所等においている。

②台風 9 号時の経緯

- 9 月 6 日 7 時 5 0 分 土砂災害警戒情報発表
- 9 月 6 日 1 6 時 0 0 分頃 自主避難をする世帯が出始める。
- 9 月 7 日 7 時頃 がけ崩れの発生 (確認?)
- 9 月 8 日 8 時頃 自主避難
- 9 月 7 日 1 0 時 3 5 分 土砂災害警戒情報解除

※佐久地区で停電 (9/6 21:00 頃～翌 15:00 頃)

※本地区では、土砂災害警戒情報発表後にがけ崩れが発生している。

なお、アメダス佐久観測所では、土砂災害警戒情報発表時の時間雨量は 2mm (6 日 7:00～8:00)、土砂災害警戒情報発表までの最大時間雨量は 13mm (5 日 19:00～20:00) であった。

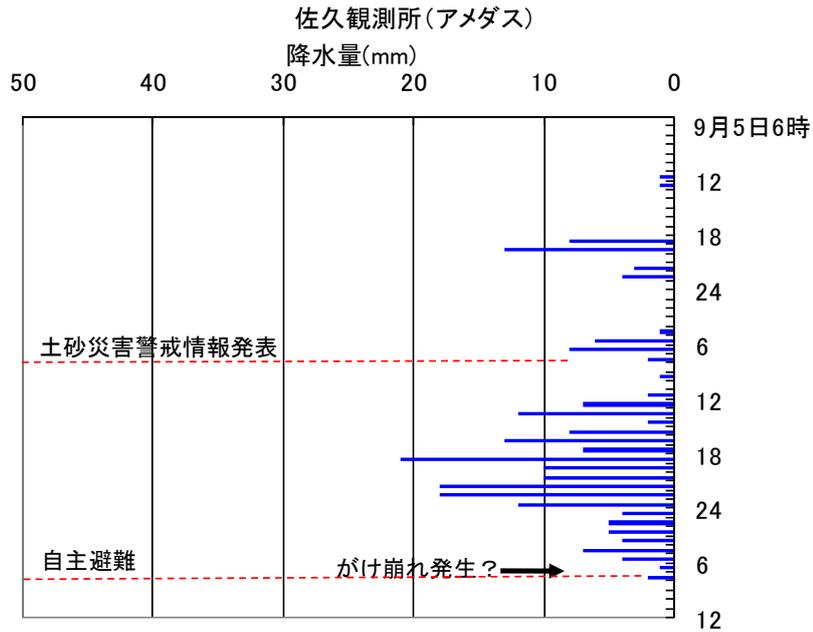


図-3.1.11 台風9号時の降水状況(佐久(アメダス))



図-3.1.12 災害発生位置と雨量観測所

③土砂災害警戒情報の発表の連絡状況

- ・テレビでは、土砂災害警戒情報の発表をニュース等で土砂災害警戒情報について取り扱っていたようである。また、台風4号時のみ土砂災害警戒情報の発表時にテロップで表示したようである。
- ・防災行政無線等では、土砂災害警戒情報の発表の連絡をしていない。防災行政無線では、台風に対する注意喚起を行っている。
- ・佐久地区については停電し、全く情報が入らない状態であった。
- ・別荘地等では自治会(区)に加入していない住民がいるため、停電時に情報伝達が十分でないとの意見があった。

(6) 静岡県沼津市

- ・人口 210,063 名 (H19.12 末)、面積 187.10km² である。
- ・消防団は約 900 名で 0.4% にあたる。自主防災組織の組織率も高く 99% に達している。9 月 1 日には総合防災訓練、12 月には地域防災訓練を実施している。
- ・防災行政無線は、屋外防災行政無線を設置している。(個別受信機の設置については不明である。)
- ・平成 17 年度に津波や地震のハザードマップ等は、全戸に配布している。

① 土砂災害警戒情報の周知状況

- ・静岡県では、県広報誌 (H19.6) で土砂災害警戒情報の運用開始が記載されている。また、チラシを作成し、市町村の窓口等に置いている。
- ・町広報誌 (H19.6) でも土砂災害警戒情報に運用開始が記載されている。
- ・消防団 (一部) にも土砂災害警戒情報について周知している。

② 台風 4 号時の経緯

- 7 月 14 日 23 時 住民から土砂崩れの連絡
消防団による現場確認
- 7 月 14 日 23 時 55 分 土砂災害警戒情報発表
- 7 月 15 日 1 時 27 分 F 地区 9 世帯 18 名に避難指示
- 7 月 15 日 12 時 20 分 土砂災害警戒情報解除

※土砂災害警戒情報の前にかげ崩れが発生した。

なお、アメダス三島観測所では、土砂災害警戒情報発表時の時間雨量は 11mm (14 日 23:00~24:00)、土砂災害警戒情報発表までの最大時間雨量は 29mm (11 日 0:00~1:00) であった。

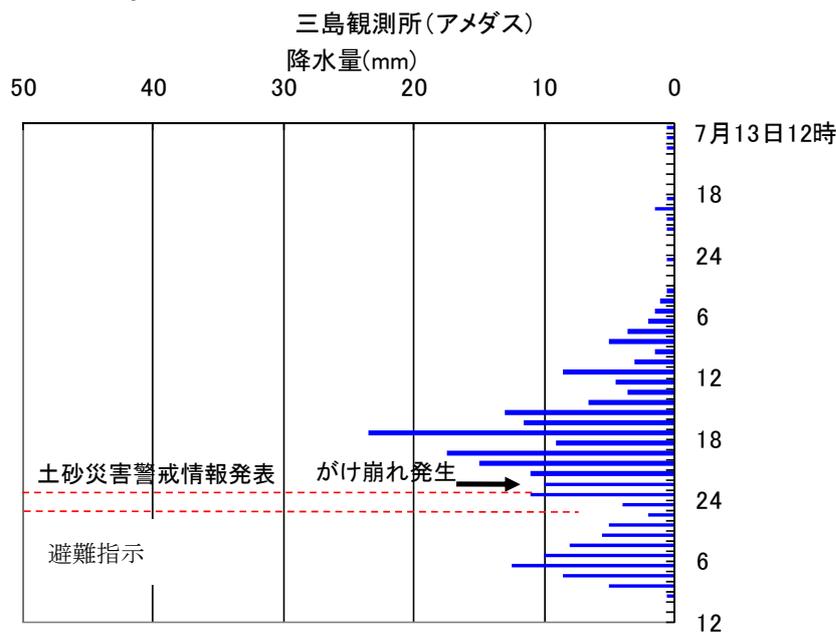


図-3.1.13 台風 4 号時の降水状況 (三島(アメダス))



図-3.1.14 災害発生位置と雨量観測所

③土砂災害警戒情報の発表の連絡状況

- ・テレビでは、土砂災害警戒情報の発表及び解除時にテロップで表示し、ニュース、天気予報等で発表中の箇所を表示する時があるようである。
- ・防災行政無線で土砂災害警戒情報の発表について連絡していない。また、今回は消防団より住民に避難指示を連絡した。

(7) 高知県高知市

- ・人口 343,199 名 (H20. 1. 1)、面積 309.22km² である。
- ・9 月 1 日には総合防災訓練、12 月には地域防災訓練を実施している。
- ・防災行政無線は、屋外防災行政無線を一部に設置している。なお、今回の災害地区 (G 地区) には設置されていない。

① 土砂災害警戒情報の周知状況

- ・高知県では、県広報誌 (H19. 9) で土砂災害警戒情報の開始を記載している。また、チラシを作成し、イベント等で配布したようである。
- ・市広報誌には掲載がない。
- ・自治会長には特に周知はしていないとのことである。
消防団については土砂災害警戒情報について周知しているかは不明である。
- ・市が自主防災組織に実施する講演会では、現地の状況により土砂災害警戒情報が開始されたことや内容を話すこともあるとのことである。

② 台風 4 号時の経緯

- 7 月 14 日 4 時 44 分 大雨洪水警報発表
- 7 月 14 日 12 時 54 分 住民からの通報
- 7 月 14 日 14 時 48 分 現場確認
- 7 月 14 日 17 時 10 分 土砂災害警戒情報発表
- 7 月 14 日 18 時 広報車・市職員の訪問による避難勧告
- 7 月 15 日 6 時 35 分 土砂災害警戒情報解除

※土砂災害警戒情報の前にながけ崩れが発生した。

なお、アメダス高知観測所では、土砂災害警戒情報発表時の時間雨量は 17mm (14 日 17:00~18:00)、土砂災害警戒情報発表までの最大時間雨量は 48.5mm (14 日 13:00~14:00) であった。

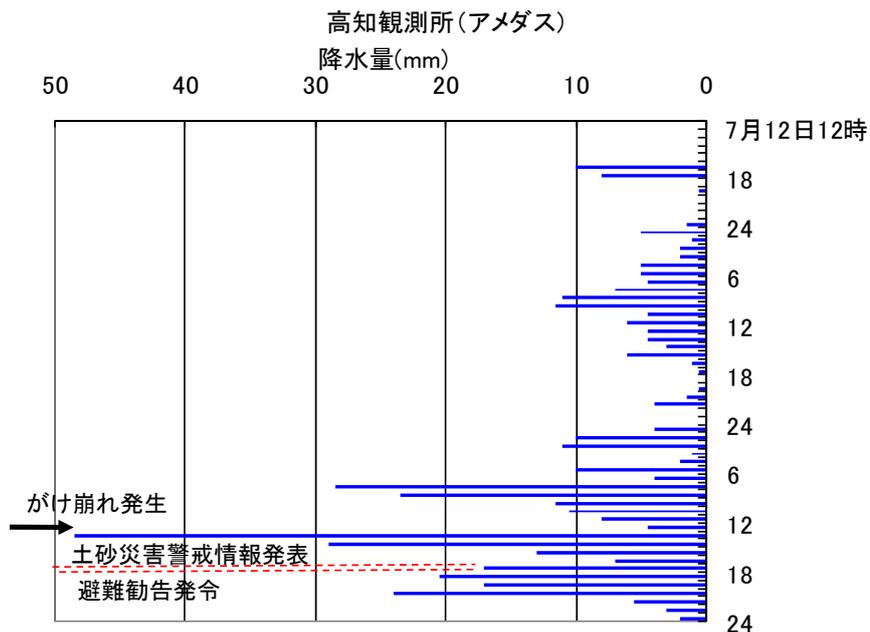


図-3.1.15 台風4号時の降水状況(高知(アメダス))



図-3.1.16 災害発生位置と雨量観測所

③土砂災害警戒情報の発表の連絡状況

- ・テレビでは、発表中に定期的にテロップを表示し、ニュース等でも扱っていたようである。
- ・防災行政無線で、台風への注意喚起や、大雨警報、土砂災害警戒情報は放送していない。また今回、避難勧告が発令されたG地区には防災行政無線が設置されていないので広報車及び職員の訪問により避難勧告の発令を連絡した。

(8) 高知県宿毛市

- ・人口 23,804 名 (H20. 1. 1)、面積 286. 11km²である。
- ・消防団は 498 名 (2. 1%)、自主防災組織の組織率は 57%となっている。
市防災訓練の実施は 2 年に 1 回実施している。
- ・平成 17 年度に津波ハザードマップ、土砂災害ハザードマップを全戸に配布している。
- ・防災行政無線は、屋外防災行政無線を沿岸部に設置している。

① 土砂災害警戒情報の周知状況

- ・高知県では、県広報誌 (H19. 9) で土砂災害警戒情報の開始を記載している。また、チラシを作成し、イベント等で配布したようである。
- ・市広報誌には記載がない。
- ・自治会長についてはチラシを配布した。消防団については土砂災害警戒情報について周知しているかは不明である。

② 台風 4 号時の経緯

- | | | |
|-----------|-------------|--|
| 7 月 1 3 日 | 7 時 | H 地区で土砂崩れ市道通行止めの連絡 (自治会長より)
職員による現場確認 |
| 7 月 1 3 日 | 8 時 3 7 分 | 土砂災害警戒情報発表 |
| 7 月 1 3 日 | 1 1 時 0 0 分 | 1 世帯 7 名に避難勧告 |
| 7 月 1 3 日 | 1 8 時 | 避難完了 |
| 7 月 1 5 日 | 4 時 1 5 分 | 土砂災害警戒情報解除 |

※土砂災害警戒情報前にかげ崩れが発生している。

なお、アメダス宿毛観測所では、土砂災害警戒情報発表時の時間雨量は 25. 5mm (13 日 8:00~9:00)、土砂災害警戒情報発表までの最大時間雨量は 42. 5mm (13 日 3:00~4:00)であった。

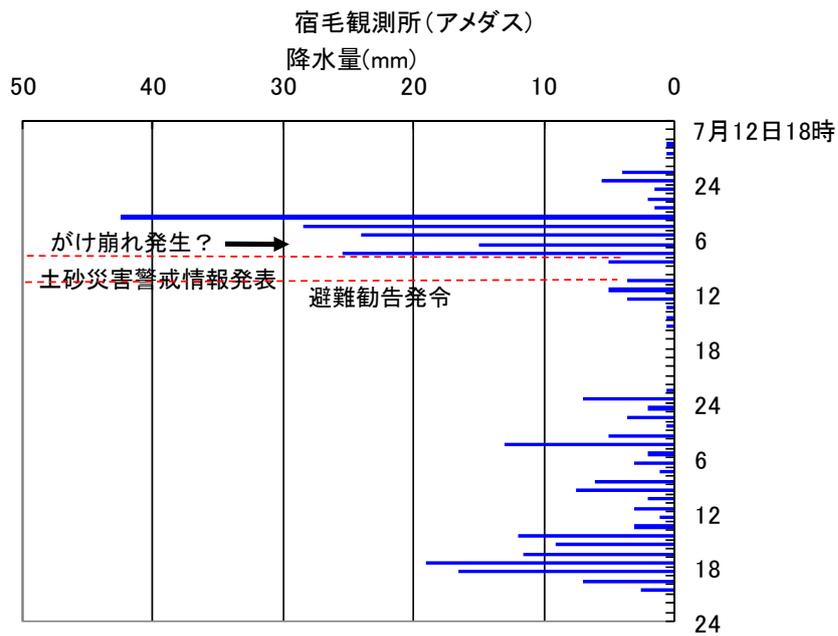


図-3.1.17 台風4号時の降水状況(宿毛(アメダス))



図-3.1.18 災害発生位置と雨量観測所

③土砂災害警戒情報の発表の連絡状況

- ・テレビでは、発表中に定期的にテロップを表示し、ニュース等でも扱っていたようである。
- ・防災行政無線(屋外防災行政無線)で台風に対する注意喚起は定時連絡をしたが、大雨注警報、土砂災害警戒情報の発表についての放送はしていない。今回の避難勧告の発令は、発令された区域が一部なので防災行政無線を使用していない。

(9) 宮崎県国富町

- ・人口 21,287 名 (H20.1.1)、面積 130.71km² である。
- ・消防団は 334 名 (1.6%) となっている。
町防災訓練の実施をしている。
- ・平成 18 年度にハザードマップを全戸に配布した。
- ・防災行政無線は屋外防災行政無線を設置している。

① 土砂災害警戒情報の周知状況

- ・宮崎県では、県広報誌には土砂災害警戒情報の運用開始について記載していない。
- ・町広報誌には平成 19 年 6 月号で記載している。
- ・また、自治会長を対象に周知した。

6月 は 土砂災害防止月間です

雨に伴って突然発生し、私たちの生命・財産を一瞬のうちに奪い去るのが土砂災害です。

突然襲う土砂災害から命を守るのは『**早めの避難**』です。

土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報とは、大雨警報が発表され、さらに土砂災害の危険が高まった場合に、県と気象台が共同して発表します。平成 18 年 9 月から提供されています。

◇ 発生したらどうすればいいの？

この情報は、市町村役場の避難勧告発令などの防災活動や、県民の皆様が自主避難を判断するための一情報となります。この情報が出たら、土砂災害が起こりやすくなっていますので、警戒を強め、早めの避難に心がけてください。

◇ どんな方法で伝えるの？

報道機関(テレビ・ラジオ)や各市町村の防災行政無線、ホームページなどによりお伝えします。

◇ 利用上の留意点

地形・地質等の条件が悪いところでは、土砂災害警戒情報が発表されていなくても土砂災害が発生するおそれがあります。気象情報等には十分注意してください。

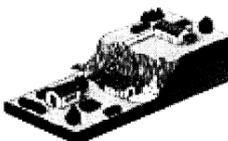
土砂災害の前兆現象に注意しよう！

地すべり



- 井戸や沢の水が濁る
- 地面にひび割れができる
- 斜面から水が噴き出す
- 樹木や電柱が傾いたり、家や擁壁に亀裂が入る

がけ崩れ



- がけに割れ目が見える
- がけから水が湧き出ている
- がけから小石が落ちてくる
- がけから木の根が切れる等の音がする

土石流



- 山鳴りがする
- 急に川の水が濁り、流木が混ざっている
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる

資料：宮崎県・宮崎地方気象台
問い合わせ先 ▶ 役場総務課危機管理係 ☎ 内線 224 ▶ 県庁砂防課 ☎ 7187
▶ 県庁危機管理局 ☎ 7066 ▶ 宮崎地方気象台 ☎ 4032

3 2007 広報くにとみ 6月号

図-3.1.19 町広報誌での記載

(広報くにとみ (19.6) より)

②台風4号時の経緯

- 7月13日 2時05分 土砂災害警戒情報発表
- 7月13日 5時頃 建設部よりがけ崩れ発生の連絡
- 7月13日 6時25分 避難勧告（I地区3世帯5名）
- 7月15日 4時55分 土砂災害警戒情報解除

※土砂災害警戒情報発表後のがけ崩れが発生している

なお、アメダス国富観測所では、土砂災害警戒情報発表時の時間雨量 60.0mm(13日 2:00~3:00)、土砂災害警戒情報発表までの最大時間雨量は 60.0mm(13日 2:00~3:00)であった。

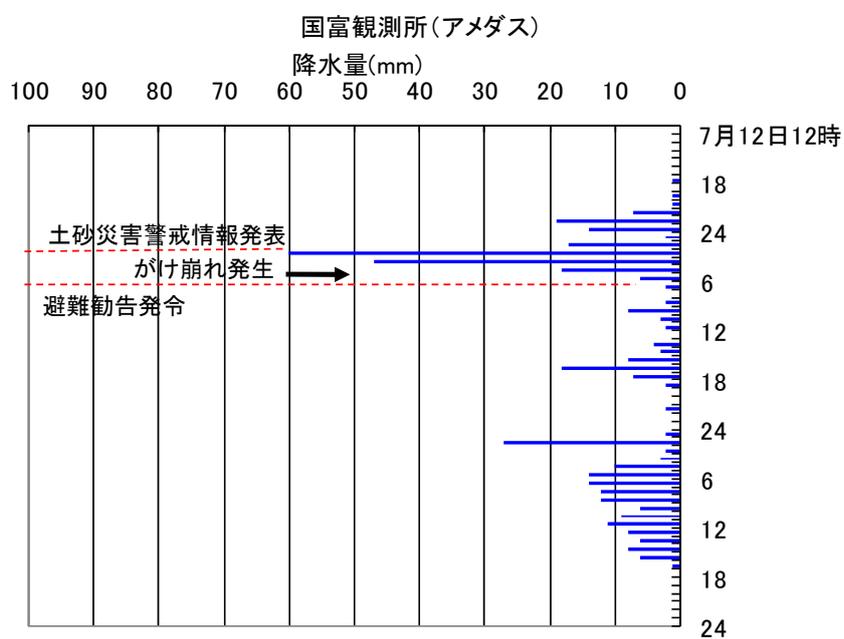


図-3.1.20 台風4号時の降水状況(国富(アメダス))



図-3.1.21 災害発生位置と雨量観測所

③土砂災害警戒情報の発表の連絡状況

- ・テレビでは、土砂災害警戒情報の発表時、発表中に定期的にテロップで表示されていたようである。
- ・防災行政無線（屋外防災行政無線）で、台風に対する注意喚起について連絡するが、大雨注警報、土砂災害警戒情報の発表については連絡しない。
- ・屋外防災行政無線が聞き取りにくいという意見があった。

(10) 鹿児島県枕崎市

- ・人口 24,975 名 (H20. 1. 1)、面積 74.88km² である。
- ・消防団は 243 名 (1.0%)、自主防災組織の組織率は 66% である。
市防災訓練は 5/27 に実施している。また消防団は月 1 回放水訓練等を実施している。
- ・平成 18 年度に土砂災害ハザードマップ・避難所の位置図を全戸に配布した。
- ・防災行政無線は、屋外・個別受信機を設置している。

① 土砂災害警戒情報の周知状況

- ・鹿児島県では、県広報誌 (H18. 10) に大きく記載している。
- ・市広報誌には、土砂災害防止月間の記載はあるが、土砂災害警戒情報の記載がない。
- ・平成 19 年 5 月に公民館長や自治会長長を集め、土砂災害の講習会を開き土砂災害警戒情報についても説明した。また、消防団への説明、防災訓練においても扱うようにしていた様子である。
- ・公民館にはチラシを置いている。

② 7 月梅雨前線豪雨の経緯

7 月 3 日 13 時 20 分 土砂災害警戒情報発表
7 月 4 日 0 時 20 分 がけ崩れ発生の連絡
7 月 4 日 1 時 自主避難
7 月 4 日 10 時 00 分 土砂災害警戒情報解除

※土砂災害警戒情報発表後にながけ崩れが発生している

なお、アメダス宿毛観測所では、土砂災害警戒情報発表時の時間雨量 6.0mm (3 日 13:00~14:00)、土砂災害警戒情報発表までの最大時間雨量は 47.0mm (3 日 11:00~12:00) であった。

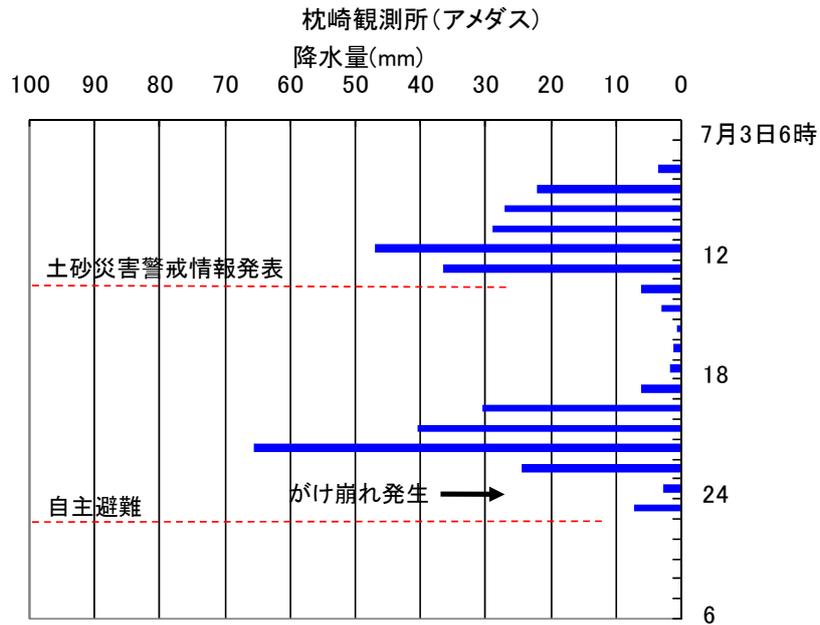


図-3.1.22 7月梅雨前線豪雨の降水状況 (枕崎(アメダス))



図-3.1.23 災害発生位置と雨量観測所

③土砂災害警戒情報の発表の連絡状況

- ・テレビでは、土砂災害警戒情報の発表解除時、発表中にはニュース等で取り扱っていた。
- ・防災行政無線で、大雨注警報、土砂災害警戒情報の発表を放送している。

(11) 鹿児島県南大隅町

- ・人口 9,932 名 (H19. 12. 31)、面積 214km² である。
- ・消防団は 287 名 (2.9%)、自主防災組織の組織率は 90% で非常に高い。町防災訓練は 2 年に 1 回に実施している。
- ・平成 17 年度に土砂災害ハザードマップを全戸に配布した。
- ・防災行政無線は、屋外・個別受信機を設置している。

① 土砂災害警戒情報の周知状況

- ・鹿児島県では、県広報誌 (H18. 10) に大きく記載している。
- ・町広報誌 (H19. 6) には、災害への注意を 2 ページに渡り大きく特に取り上げているが、土砂災害、土砂災害警戒情報に関する記述はない。
- ・消防団の幹部会で、土砂災害警戒情報の運用開始にあたり説明をした。また自治会長には、チラシを配布した。
- ・公民館に土砂災害防災マップと併に土砂災害警戒情報に関するチラシを置いている。

② 7 月梅雨前線豪雨の経緯

7 月 1 1 日	4 時 0 0 分	災害警戒のため本庁・支所ともに防災担当職員が待機
7 月 1 1 日	4 時 3 0 分	災害警戒本部設置
7 月 1 1 日	5 時 0 0 分	雨が非常に強く、防災行政無線 (屋外・個別両方) により土砂災害の危険があることを住民へ周知、自主避難の呼びかけ。消防団による警戒、広報を指示。
7 月 1 1 日	6 時 3 0 分頃	消防団警戒中に K 地区において土石流発生。住民は消防団の誘導により小学校に避難。 M 地区で裏山の崩壊により住家全壊、住民 3 名の内 2 名は崩壊前に避難し、1 名は消防団により救出。 また、M 地区において土石流発生、下流域人家に浸水多数。L 地区において土石流発生、住民は裏山から発する轟音に驚き、直前に避難。
7 月 1 1 日	6 時 4 5 分	土砂災害警戒情報発表
7 月 1 1 日	1 1 時 2 0 分	K 地区避難勧告発令
7 月 1 1 日	1 2 時頃	小康状態となったため警戒本部・消防団による現場被害の確認
7 月 1 2 日	0 時 1 0 分	土砂災害警戒情報解除

※土砂災害警戒情報発表前に土砂災害があった。

なお、アメダス佐多観測所では、土砂災害警戒情報発表時の時間雨量 78.0mm (11

日 6:00~7:00)、土砂災害警戒情報発表までの最大時間雨量は 99.0mm(11 日 5:00~6:00)であった。

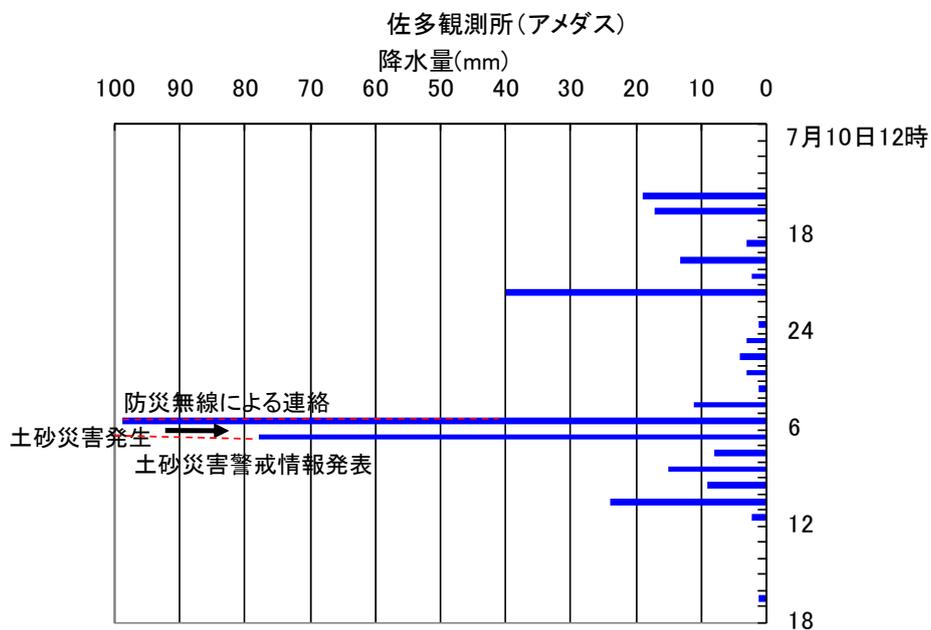


図-3.1.24 7月梅雨前線豪雨の降水状況(佐多(アメダス))



図-3.1.25 災害発生位置と雨量観測所

③土砂災害警戒情報の発表の連絡状況

- ・テレビでは、土砂災害警戒情報の発表時、発表中はニュース等で取り扱っていた。
- ・防災行政無線で、台風に対する注意喚起や土砂災害警戒情報の発表について連絡している。(大雨警報は連絡しない)

今回の場合、土砂災害警戒情報は発表されていなかったが、異常な豪雨であった

ため、防災行政無線により土砂災害の危険があることを住民へ周知、自主避難の呼びかけをした。

(12) 鹿児島県志布志市

- ・人口 35,120 名 (H19. 12. 31)、面積 289.47km² である。
- ・消防団は 470 名 (1.3%)、自主防災組織の組織率は 70% となっている。
土砂災害に対する防災訓練を 5/27 に実施した。
- ・防災マップ (土砂災害・津波) を平成 19 年に全戸に配布した。
- ・防災行政無線は、屋外・個別受信機を設置している。

① 土砂災害警戒情報の周知状況

- ・鹿児島県では、県広報誌 (H18. 10) に大きく記載している。
- ・市広報誌 (H19 年 6 月号) では、土砂災害への注意について掲載されており、土砂災害警戒情報についても簡単に説明されている。
- ・消防団の幹部会・ブロック長会 (自治会長の代表者) では、土砂災害警戒情報開始にあたり説明をした。
- ・チラシを消防団に配布した。また、役場に置いている。
- ・防災訓練において土砂災害警戒情報のことは説明しているようである。

② 7 月梅雨前線豪雨の経緯

7 月 11 日 7 時 58 分 土砂災害警戒情報発表

7 月 11 日 13 時 20 分 住民から支所に連絡

現場を回っていた職員が現地へ

被災した家屋の住人はすぐに自主避難 (親戚宅)

7 月 11 日 15 時 25 分 土砂災害警戒情報解除

※土砂災害警戒情報発表後にながけ崩れ発生

なお、アメダス志布志観測所では、土砂災害警戒情報発表時の時間雨量 17.0mm (11 日 7:00~8:00)、土砂災害警戒情報発表までの最大時間雨量は 30.0mm (11 日 5:00~6:00) であった。

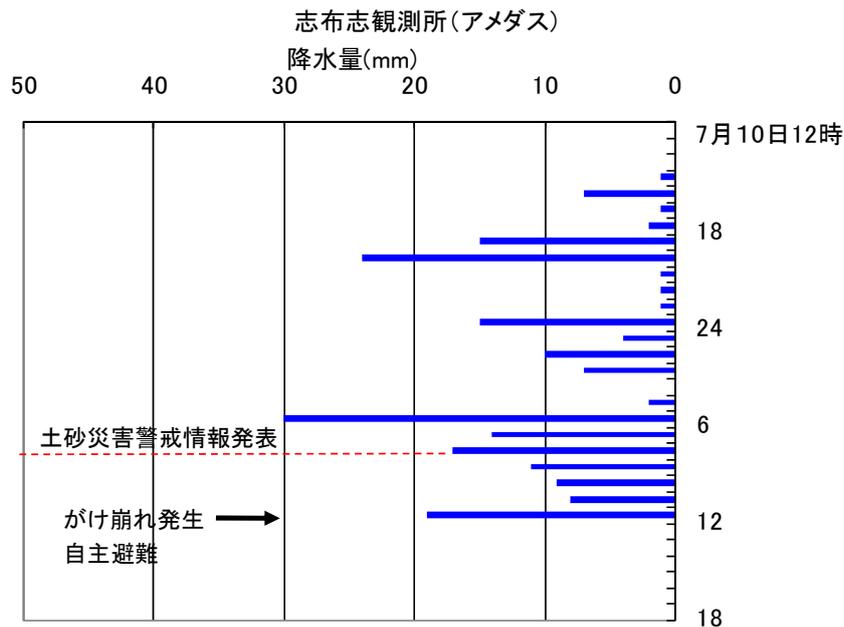


図-3.1.26 7月梅雨前線豪雨の降水状況(志布志(アメダス))



図-3.1.27 災害発生位置と雨量観測所

③土砂災害警戒情報の発表の連絡状況

- ・テレビでは、土砂災害警戒情報の発表時、発表中はニュース等で取り扱っていた。
- ・防災無線行政無線で、台風に対する注意喚起や土砂災害への注意(土砂災害警戒情報が発表されれば出すわけではない)については放送している。

今回の場合、広報車で土砂災害への警戒を呼びかけた。(広報車でパトロールすると共に必要に応じて呼びかける。また、危険度が上がると行政無線で周知を行うとのことである。)

(13) 鹿児島県垂水市

- ・人口 18,078 名 (H20. 1. 1)、面積 162.01km² である。
- ・消防団は約 300 名 (1.6%)、自主防災組織の組織率は 67% (世帯割) である。市総合防災訓練 (年 1 回) を実施し、自主防単独防災訓練も実施されている。
- ・急傾斜崩壊危険箇所、土石流危険渓流、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域の周知 (ハザードマップ等の配布) した。
- ・防災行政無線は、野外・個別受信機を設置している。(個別受信機は山側家屋に設置)

① 土砂災害警戒情報の周知状況

- ・鹿児島県では、県広報誌 (H18. 10) に大きく記載している。
- ・市広報誌では、防災シリーズと題して H18~H19 に土砂災害等に関する記事が連載されているものの土砂災害警戒情報については説明されていないようである。

② 台風 4 号の経緯

- 7 月 1 1 日 8 時 3 0 分 災害警戒本部設置
- 7 月 1 1 日 9 時 0 0 分 災害対策本部切替
- 7 月 1 3 日 1 0 時 0 0 分 避難準備情報発令 (市内全域)
- 7 月 1 3 日 1 4 時 0 0 分 避難勧告発令 (O 地区を含む急傾斜地崩壊危険箇所等 3905 世帯 8574 名)
- 7 月 1 3 日 1 5 時 3 0 分 土砂災害警戒情報発表
- 7 月 1 4 日 1 1 時 0 0 分 国道 220 号通行止め (桜島口~牛根麓区間)
- 7 月 1 4 日 1 1 時 4 0 分 国道 220 号通行止め (牛根境区間)
- 7 月 1 4 日 1 2 時 3 0 分 O 地区 土石流発生
国道 220 号通行不能
- 7 月 1 4 日 1 6 時 4 5 分 国道 220 号通行止め解除 (桜島口~牛根麓区間)
- 7 月 1 5 日 3 時 3 5 分 O 地区 通行止め解除
- 7 月 1 5 日 4 時 0 5 分 土砂災害警戒情報解除
- 7 月 1 5 日 6 時 0 0 分 避難勧告解除
- 7 月 1 5 日 1 4 時 0 0 分 災害対策本部解散

※土砂災害警戒情報発表後にかげ崩れ発生

なお、アメダス高峠観測所では、避難勧告発令時の時間雨量は 10.0mm (13 日 13:00~14:00)、避難勧告発令までの最大時間雨量は 10.0mm (13 日 13:00~14:00)、土砂災害警戒情報発表時の時間雨量 0.0mm (13 日 15:00~16:00)、土砂災害警戒情報発表までの最大時間雨量は 10.0mm (13 日 13:00~14:00) であった。

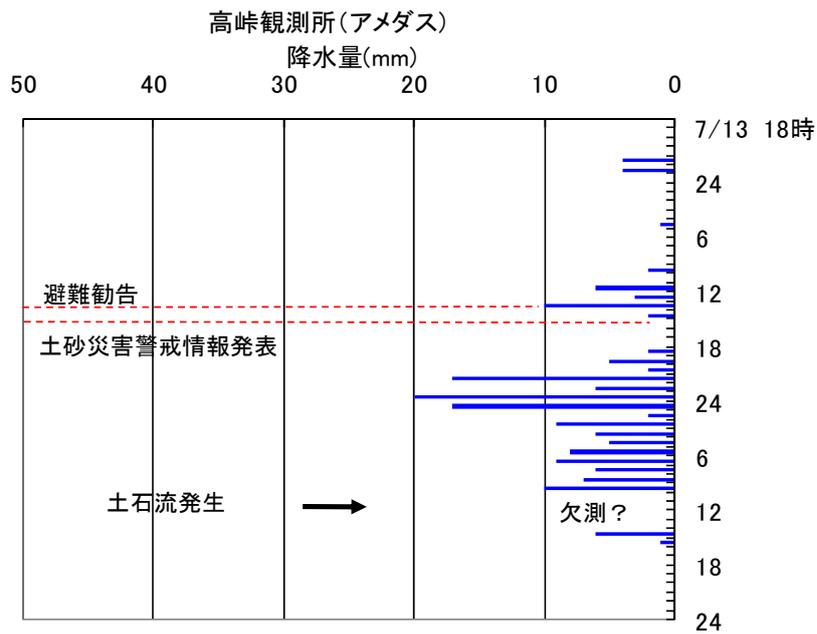


図-3.1.28 台風4号の降水状況(高峠(アメダス))



図-3.1.29 災害発生位置と雨量観測所

③土砂災害警戒情報の発表の連絡状況

- ・テレビでは、土砂災害警戒情報の発表時、発表中はニュース等で取り扱っていた。
- ・防災行政無線で、避難勧告の発令を放送した。今回の場合、本市では1,500mm程度の積算雨量を記録しており、土砂災害が起こり得る大変危険な状態であった。台風に伴い大雨が予想されたため、午後2:00に市内の急傾斜崩壊危険箇所等を有する80振興会(町内会)3905世帯8574名に避難勧告を発令した。
- ・防災行政無線で、14日16時に土砂災害警戒情報発表中の放送をした。(通常の場合も、土砂災害警戒情報の発表に連動した放送しないようである)

3. 2 調査地の情報伝達及び啓発活動のまとめ

表-3.2.1は、市町村への聞き取り等の結果のまとめたものである。

表-3.2.1 市町村への聞き取り等の結果の一覧

	福島県		山梨県		長野県				静岡県		高知県		宮崎県	鹿児島県				
	敷川村	丹波山村	阿南町	御代田町	佐久市	沼津市	高知市	宿毛市	国高町	枕崎市	南大隅町		志布志市		垂水市			
人口	4,325	777	5,699	14,284	101,224	210,063	343,199	23,804	21,287	24,975	9,832		35,120		18,078			
消防団 割合	321 7.0	72 9.3	不明	300 2.1	300 0.4	900 0.4	不明	498 2.1	334 1.6	243 1.0	287 2.1		470 1.3		約300 1.7			
土砂災害 警戒情報 時刻	9/7 2:00	9/6 22:00	7/15 不明	9/7 6:00	9/7 7:00	7/14 23:00	7/14 12:54	7/14 7:00	7/13 5:00	7/4 0:20	7/11 6:30	7/11 6:30	7/11 6:30	7/11 13:20	7/14 12:30			
土砂災害警戒情報の発表時間	9/7 1:45	9/6 19:30	7/15 3:25	9/6 7:50	9/6 7:50	7/14 23:55	7/14 17:10	7/14 8:37	7/13 2:05	7/3 13:20	7/11 6:45		7/11 7:58		7/13 15:30			
避難勧告等	無し	有り	有り	有り	無し	有り	有り	有り	有り	無し	有り	無し	無し	無し	有り			
防災行政無線個別受信機	○	○	○	○ (オアーク)	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○ (山側)			
情報の内容	事前の台風 の注意喚起	避難勧告 (9/6 14:00)	台風の注意 喚起	1/2がオアーク の運用に加入 気象情報の 伝達は無し	防災行政無線 (一部)では 台風の注意 喚起をして いる。		野外防災行政 無線が無い		事前の台風 の注意喚起	大雨警報、 土砂災害警戒 情報	7/11 5:00 防災無線により土砂災害の 危険性があることを住民に連絡 通達し、土砂災害警戒情報		台風への注意 喚起 (今回は、 広報車により土砂災害 警戒情報)	避難勧告 (7/13 14:00) なお、14日 16時に土砂 災害警戒情報 発表中の放送				
テレビでの取扱い(テレビ局により異なる)	発表時のテ レップ、 ニュース等	発表時、定 期的なテ レップ、 ニュース等	台風4号時のみ発表時にテ レップ ニュース等			発表時、解 除時のテ レップ、 ニュース等	定期的にテ レップ表示 ニュース等		発表時・定 期的なテ レップ	発表解除の時テ レップ ニュース等								
その他		停電(9/6 23:00~翌 日昼頃まで)		停電(9/6 19:00頃~)	停電(9/6 21:00~翌 日15:00)										郵便局は被災直前まで 営業			
土砂災害警戒情報の広報誌への掲載	県広報× 市広報×	県広報○ 市広報×	県広報○ 市広報○	県広報○ 市広報△	県広報○ 市広報△	県広報○ 市広報○	県広報○ 市広報×	県広報○ 市広報×	県広報× 市広報○	県広報○ 市広報△	県広報○ 市広報△			県広報○ 市広報△	県広報○ 市広報△			

×:土砂災害警戒情報の記事が無い ▲:「土砂災害に注意」に関する記載 △:土砂災害警戒情報の言葉が記載されている
○:土砂災害警戒情報について説明されている ◎:土砂災害警戒情報について大きく扱われ説明されている。

今回の調査範囲では、土砂災害警戒情報の広報状況や伝達状況について以下のことがわかった。

(1) 土砂災害警戒情報の運用開始時の啓発活動の状況

- ① 県の広報誌への掲載状況は、7 県中 5 県であった。
- ② 市町村の広報誌では、土砂災害警戒情報について記載されたものは 13 市町村中 3 市町であり、土砂災害に対する注意などの記載があっても、土砂災害警戒情報の言葉も記載されていないものが 7 市町村であった。
- ③ 市町村が消防団の幹部会や自治会長に対して周知している場合が多く見られる。
- ④ なお、土砂災害警戒情報運用開始にあたっては報道発表がなされており、テレビのニュースや天気予報などで土砂災害警戒情報の説明がなされているものと推定される。

以上の結果から、多くの住民へは、土砂災害警戒情報の意味（発表される時の状況、発表された時の対応）について、テレビや県・市町村の広報誌により、周知されていることが推定される。

(2) 土砂災害警戒情報の伝達状況

①防災行政無線を使って台風への注意喚起をしている地区は 15 地区中 4 地区でみられたが、土砂災害警戒情報の発表^{*}を連絡している地区は、鹿児島県の 1 地区のみであった。

※土砂災害警戒情報の発表に連動して情報を提供している。

②テレビでは、主に土砂災害警戒情報の発表をテロップにより表示したり、発表中は天気予報やニュース等で報じられている場合が認められた。

以上の結果から、土砂災害警戒情報の発表状況は、主にテレビのニュース等により知らされていることがわかる。今回の場合、台風に伴う土砂災害警戒情報の発表だったので、土砂災害警戒情報の発表がテレビで比較的によく報じられていたと考えられる。

※テレビ等でのニュース等の情報は、一過性の情報なので住民はニュース等の情報に注意を配っていないと、土砂災害警戒情報の発表を知らない場合が生じることが考えられる。

(3) 避難勧告等の連絡状況

①土砂災害が発生する前に避難勧告が発令された B 地区、O 地区では、主に防災行政無線により、避難勧告の発令の連絡をしている。それ以外の土砂災害発生後に避難勧告が発令された地区では、主に消防団・市職員等の呼びかけ（電話等含む）により、連絡を行っている。

②南大隅町では、土砂災害警戒情報の発表前であるが、時間雨量 30mm の猛烈な雨があり、土砂災害の危険が高かったため、防災行政無線（屋外・個別受信機）および消防団により土砂災害の危険があることを住民に連絡し、自主避難を呼びかけている。

以上により土砂災害の発生前の避難勧告発令等のように広域的に呼びかける場合は、防災行政無線により住民に避難勧告を連絡しているが、土砂災害の発生後の避難勧告発令等のように緊急性を要する場合は、主に消防団・市職員等の呼びかけ（電話等含む）により、連絡を行っている。

なお、土砂災害前ではあるが、危険性が極めて高いと考えられた場合に対して防災行政無線あるいは消防団により自主避難を呼びかけた地区がみられた。